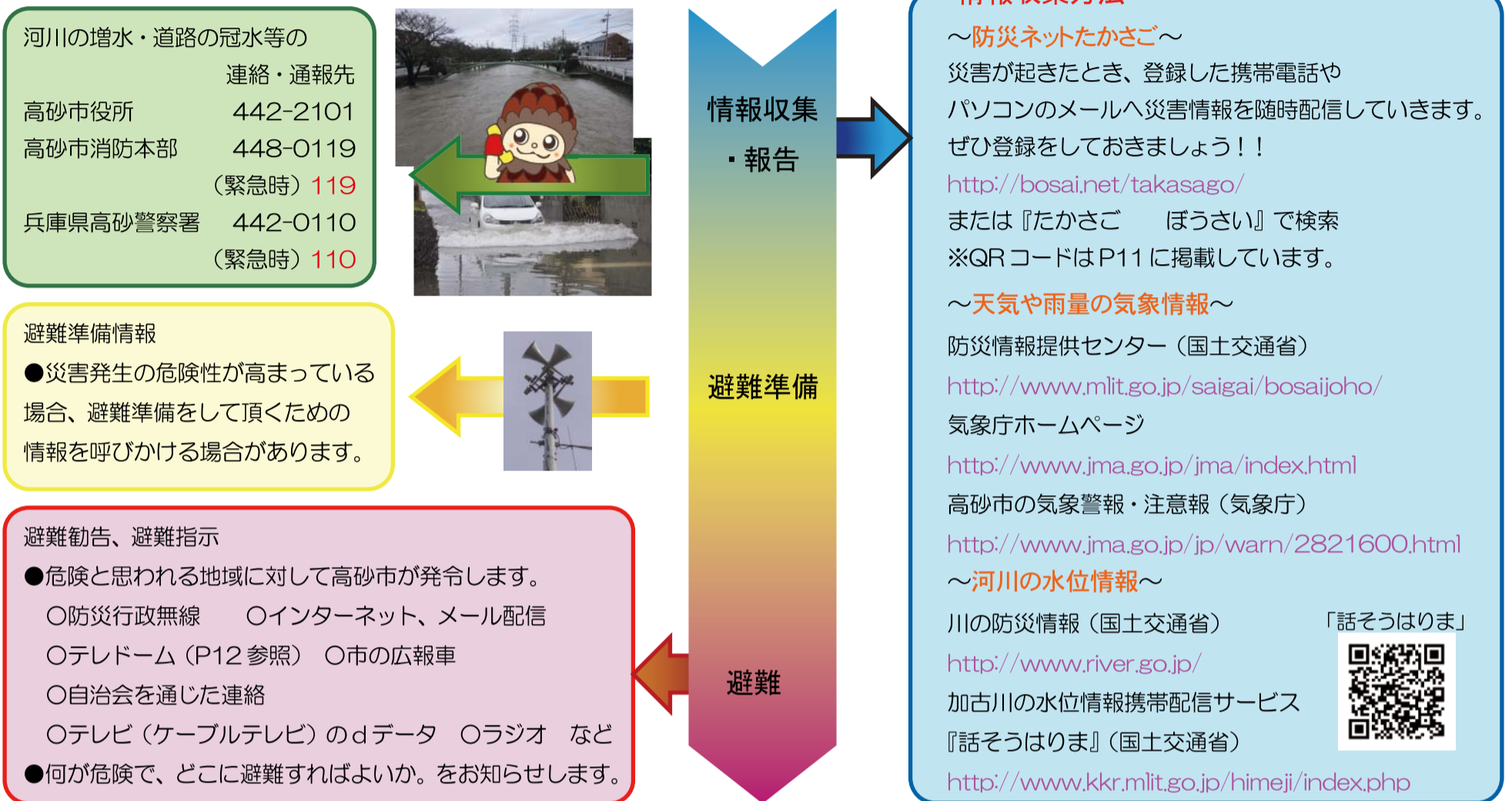


避難するときには ～大雨による災害から身を守るために～

大雨や洪水時の行動については、高砂市や兵庫県からの情報や指示によるもの以外に、自らマスメディア等からの情報を入手するなど、早め早めの避難行動が大切です。**自分の身は自分で守れるように、行動をしましょう。**
 また近くに避難が困難な人がいれば、手助けをお願いします。また、河川の増水や道路の冠水等、危険な状況を確認された方は役所等へ連絡をお願いします。住民の皆様の協力が、高砂市の被害減少に役立ちます。



避難時に注意してほしいこと

- 1. 避難のタイミング**
 ○避難勧告・指示が発令される前でも、危険を感じたら、市役所・警察・消防・消防団などに連絡し、早めに避難を開始しましょう。
 ○堤防が決壊した場合には、はん濫水の勢いで近くの家屋が破壊されることがあります。堤防が決壊する前に、避難を完了しましょう。
- 2. 防災責任者の指示に従う**
 ○避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。自主的な避難を行う場合は、避難指示が出る前の早めの行動をしましょう。避難指示が出てからの、独断での行動は大変危険です。
- 3. 動きやすい服装、集団での避難**
 ○サンダルやスリッパは危険です。長靴もダメです。ひもでしめられる運動靴で避難しましょう。
 ○二人以上での行動を心がけましょう。お互いの身体をロープで結ぶなど、はぐれないような工夫をしましょう。
- 4. 非常時の持ち出し品**
 ○荷物は、貴重品、必要な食料、衣類、日用品など、必要最低限にしましょう。
- 5. 隣近所への呼びかけ**
 ○お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。ご近所のみなさんで情報伝達や避難場所をとりまとめておくと便利です。
- 6. 車での避難は危険**
 ○自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変で危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。
- 7. 避難時の歩き方**
 ○避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。
 ○浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等のふたが開いて、転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。
 ○アンダーパス (立体交差での路面の掘りこみ箇所) や、丘陵斜面を通ずる道路などは、激しい流れが生じて、たいへん危険です。
- 8. 橋や川の近くは危険**
 ○川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。
 ○大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。
 大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

ただし、避難に遅れた場合は・・・

無理な行動はしない

建物の倒壊の危険がなく、周囲が浸水した場合には、避難所に避難するよりも、自宅の二階以上や付近のビルに避難する方が安全な時もあります。周辺の状況を確認して避難しましょう。

